

■部会 Report

国際部会の活動紹介

国際部会統括 加藤 仁

国際部会長 上田悦紀

三菱重工業株式会社

はじめに

国際部会は日本と海外の交渉窓口の役割を担っています。2012年度は、FIT導入（2012年7月）、および浮体式を含む洋上風力国家プロジェクトの具体化により、日本の風力発電に世界の注目が集まりました。

その結果、世界中の再生可能エネルギー団体（GWEC、WWEA、EWEA、IEA Wind、REN21、Renewable UK、等）、業界誌（Recharge、Windpower Monthly等）、コンサル会社（Navigant/BTM、MAKE等）から、矢継ぎ早に情報提供の依頼が来るようになってきました。

特に、台湾、韓国、モンゴル等のアジアの関連団体とは、現地セミナーでの出張講演（図2）やミッション団の日本訪問（図1）が相次ぎ、産業面での交流が活発化しました。

EWEA展示会での日本紹介発表も、ここ数年は恒例になりました（図4）。さらに日本でも民間の新しい国際風力展示会 Wind Expoが始まりました。

また、2012～13年には、風力発電の先端研究組織 IEA Wind と国際標準 IEC/TC88 で、重要な国際会議が次々に日本で開催されています。国際社会における日本の風力発電業界のステータス向上が感じ取れる1年でした。



図1 モンゴル風力エネルギー協会の JWPA 訪問

国際イベントへの参加

JWPA は 2012 年度に国内外で 15 件の国際イベントに参加して、その内の 12 件（○印）で日本紹介発表（洋上関連が多い）を行いました（表1）。

表1 JWPA が参加した主な国際イベント

時期	イベント（場所）	発表
7月	環太平洋自然エネルギー国際フォーラム（秋田）	○
9月	モンゴル風力発電協会との交流会（東京）	○ 図1
	ドイツ大使館主催 Wind Energy Symposium（東京）	○
10月	International Forum of New & Renewable Energy（韓国）	○
11月	China Windpower 2013（北京） GWEC 理事会（図2）	
	Offshore Wind Power Seminar（台湾）	○ 図3
	Asia-Pacific Forum on renewable Energy（韓国）	
12月	台湾風車工業会との交流会（東京）	○
	RE2012 展示会（東京）	○
2月	Wind Energy Asia 2013（韓国）	○
	EWEA 2013、(オーストリア ウィーン) GWEC 市場開拓会議、広報会議	○ 図4
	Wind Expo 2013（東京） (図5)	○
3月	ドイツ風力エネルギーシンポジウム（東京）	○
4月	Power & Electricity World Asia 2013（シンガポール）	○
5月	AWEA Windpower 2013（シゴ） GWEC 理事会	



図2 北京での GWEC 理事会の様子

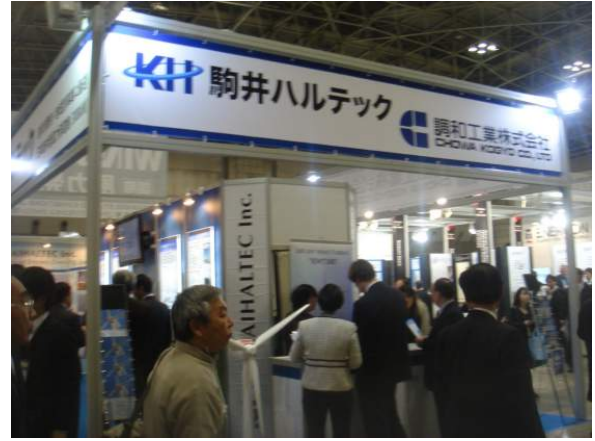


図5 Wind Expo 2013



図3 台湾洋上セミナーでの日立の発表

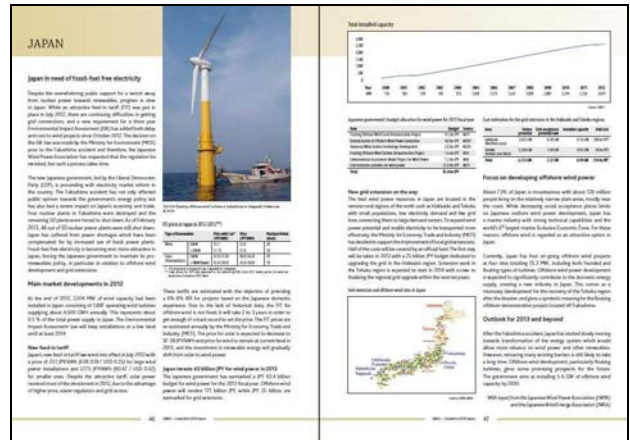


図6 GWEC の 2012 年間報告の日本トピックス



図4 EWEA2013 での日本紹介発表

GWECとの協力

JWPA は風力発電の国際組織の世界風力会議 (GWEC: Global Wind Energy Council) の発足メンバーの一つです。欧州・米国・中国のカンファレンスに合わせて開催される GWEC 理事会や関連会議に日本代表として出席して (図2)、各国や企業の代表と、新市場の開拓、広

報宣伝による社会的受容性の向上等の課題の討議に参加して、情報交換に努めています。Global Wind Day (6/15 の風力イベント一斉開催) や広報連絡会などの風力発電の広報宣伝活動にも協力しています。また、GWEC の年間報告書 (図6) やニュース配信に正確な日本の情報を提供しています。

今年度の活動計画

2013 年も福島沖浮体式洋上風力発電実証国家プロジェクト等の世界の注目を集めるイベントが続くので、積極的に海外への情報発信を心がけます。国内向けには風力発電の広報宣伝活動を強化していきたいと思ひます。

国際部会 は日本の海外窓口として、JWPA 加盟企業と海外市場を繋ぐ役目を果たしてまいりますので、今後も皆様のご協力、ご支援を宜しくお願ひいたします。